

| 番号 | 氏名 | 抱負 |
|-----|-------|--|
| 061 | 岡田 明男 | 公益社団法人日本放射線技術学会の目的・事業活動等の遂行状況を把握しながら会員に伝達し具現化していく。また、本会の活動を一層強化して推進していきたいと考えているので代議員に立候補します。 |
| 062 | 小川 正人 | 放射線技術学の進歩や発展は、多くの会員の目標および学会の目的である。達成のための要件には技術者として社会の要請に応えることや放射線技術学会の正常な運営・活動が不可欠である。代議員へ就任後は、学会全体の状況を把握し、会員へ広めること、全国はもとより支部会員の要望や意見を吸い上げて本部への進言を行い、会の活性化や発展に寄与したいと考える。 |
| 063 | 奥田 保男 | 本学会に課せられた責務は、放射線技術学に関する研究、知識の交換ならびに関連団体との連携を含めた放射線領域における学術および技術の進歩発展と考えます。また、社会では医療被ばくや原発災害に伴う放射線による健康影響が注目されています。そこで、私は医療情報という視点から、医療被ばくや診療・画像情報における広域的な収集と共有、更にこれら情報の次世代への利用を含めた研究に寄与したいと考えます。 |
| 064 | 小口 宏 | 放射線治療技術の目覚ましい革新はがん患者さんに大きな恩恵を与えると同時に、医療現場ではその臨床適用や精度管理に対してより深い知識や経験が求められている。本学会が臨床放射線技術、臨床医学物理に関してリーダーシップを持ち、国際的にも認められる活動を企画実行する一助となるよう、代議員として参加したい。また、国民から信頼される医療の安全性に関しても取り組んで行きたいと考える。 |
| 065 | 奥村 晃由 | 現在、関東部会の関東DR研究会の幹事を務めさせていただいております。研究会の役員を務めさせていただくなか、部会や他の研究会との協調の重要性、また、学会本部との結びつきの重要性を再認識いたしました。微力ではありますが技術学会の発展、部会の活性化、会員の放射線技術の向上のために寄与してゆきたい所存でおります。 |
| 066 | 奥村 雅彦 | 診療放射線技術の発展に尽くして参る所存です。よろしくお願い致します。 |
| 067 | 小倉 明夫 | 将来構想の答申も出て、日本放射線技術学会は、次のステップへの変革期に来ています。社会では国際化の波が押し寄せていますが、そんな時こそ、もう一度原点に却って、会員のための技術学会を考えてみたいと思います。真の放射線技術学の発展を考えて、代議員として仕事ができればと思います。 |
| 068 | 小澤 一夫 | 東京部会にて公募研究及び部会表彰選考委員会にて委員長、本部にて総務委員とJIRAにて標準化の委員をさせていただいておりますが、今後とも微力ではありますが部会運営に尽力したく立候補させていただきます。よろしくお願い致します。 |
| 069 | 越智 茂博 | 自分自身まだまだ勉強中の身ですが、関東部会員の声が学会本部に届けられるように、頑張ります。また、本部および関東部会の活動をお手伝いしながら、少しでも多くの会員の皆様が研究発表できるような学会を目指し、新入会員が増え今まで以上に活性化した学会となる、一助になれば幸いです。若輩者ですが、よろしくお願い致します。 |
| 070 | 小沼 洋治 | 平成25・26年度の関東部会監事を務めています。この経験を生かし、関東部会の会員増、健全な収支、市民公開講座を含む公的な活動の強化等を重点に観て行きたいと考えています。そして結果的に関東部会が学会全体に貢献できればと思います。 |